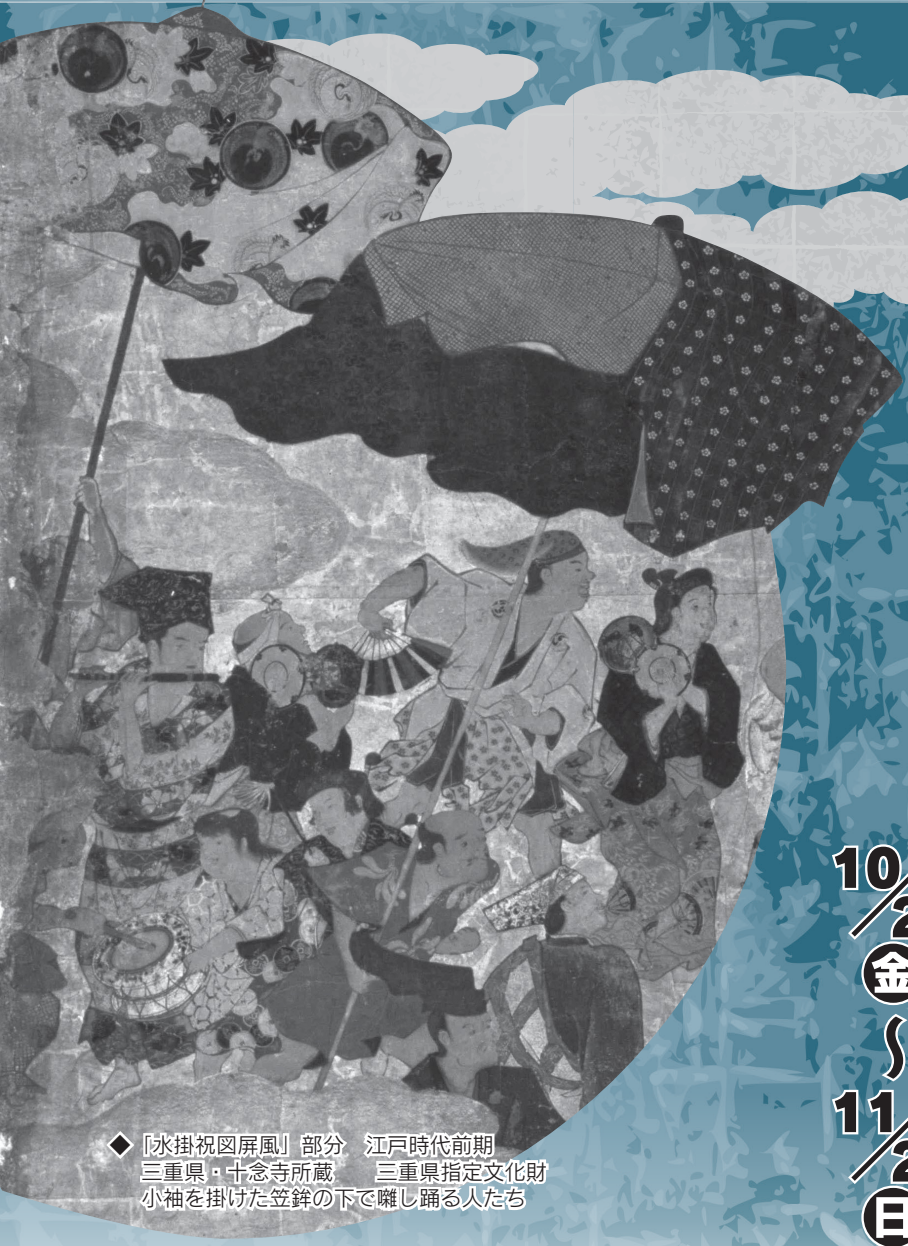
平成29年度秋季特別展覧会 八代の歴史と文化27

# 大笠鉾展

―八代妙見祭ユネスコ無形文化遺産登録記念―

10/20(金)～11/26(日)



◆「水掛祝図屏風」部分　江戸時代前期
三重県・十念寺所蔵　　三重県指定文化財
小袖を掛けた笠鉾の下で囃し踊る人たち

昨年12月、妙見祭を始めとする日本各地の祭り33件が「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。「それぞれの祭りの出し物は見た目がぜんぜん違うのになぜ一緒に登録されたの？」と思われるかもしれませんが、実はそれらのほとんどが「笠鉾」をルーツとしているのです。

今回の展覧会は、「笠鉾」をキーワードに九州を中心とする祭りの秘密に迫ります。京都祇園祭や博多祇園山笠を描いた屏風や、県外初出品となる長崎くんちの傘鉾の実物など54件を展示します。これまでの通説を覆す展覧会となっています。ぜひご覧ください。

**ところ**　市立博物館未来の森ミュージアム
**主　催**　市立博物館未来の森ミュージアム・八代市・熊本日日新聞社
**後　援**　八代妙見祭保存振興会
**観覧料**　一般600円（480円）高大生400円（320円）中学生以下は無料
※（　）内は20人以上の団体料金
※11月3日㈷は無料公開日
**休館日**　月曜日

◆「妙見宮祭礼絵巻」部分
江戸時代後期　八代神社蔵

**特別講演会**　※いずれも博物館講義室にて　聴講無料　定員80人　事前申込不要　先着順
①10月28日㈯　午前10時30分～正午　「笠鉾から日本の『祭り』が見えてくる！？」　講師：本館学芸員　早瀬輝美
②11月18日㈯　午前10時30分～正午　「笠鉾から山車（だし）へ」　講師：大阪芸術大学教授　西岡陽子氏

**問合せ　市立博物館未来の森ミュージアム☎34-5555**